

研究タイトル:

雑音要因が学習者の聴解度に与える影響



氏名: 金山陸貴/KANAYAMA Rikutaka E-mail: kanayama@yonago-k.ac.jp

職名: 助教 学位: 修士(文学)

所属学会・協会: 外国語教育メディア学会

キーワード: 英語教育学, リスニング

技術相談
提供可能技術:

研究内容:

英語教育において、多くのリスニング教材は、雑音の含まれていない綺麗な音声がか用いられています。一方で、現実世界での会話は、交通騒音や他人の話声といった背景雑音を避けることができません。雑音によって音声がかマスキングされると、リスニング活動はより一層困難となります。このような雑音による音声劣化が、リスニングの困難さをどのように引き起こしているのかについてはさらなる研究を要しています。さらに、このような背景雑音下でのリスニングに効果的に対処する学習法は現状確立されていません。

背景雑音に慣れることを目的とし、従来のリスニング教材にただ雑音を加えると、学習者にとって過度な雑音となる可能性があります。そこで、音響・音声分析および主観的な音声の聞きやすさの観点から、学習者にとって適度な負荷となる雑音条件を特定するための研究を行っています。

リスニング音声からフォルマント周波数などの音響特徴量を算出し、背景雑音のマスキングによる値の変化幅を測定します。そこでどのような種類の雑音が、どのように音声を変化させ、学習者の聴解度および主観的な聞きやすさに影響を与えるのか観察します。

このように、雑音条件を段階的に変化させることで、適度な雑音条件となる各音響特徴量値の閾値を特定していきます。ここで得られた値を従来のリスニング教材に適用することで、過度な雑音ではなく、適度な聞きにくさ(負荷)が加えられたリスニング教材の開発を目指しています。

担当科目	英語総合Ⅱ, 英語総合Ⅲ
過去の実績	
近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	R. Kanayama and Y. Ono, "Effects of Noise Factors on Japanese EFL Learners' Listening," 2024 17th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI-Winter), Ho Chi Minh, Vietnam, 2024, pp. 97-102

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)
